

2014
10
No. 141

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です

利用者64名の長寿をお祝い
特別養護老人ホーム心和園
敬老授与式

■地域福祉事業資金造成
チャリティティービアパーティー終わる

■十月一日から赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります

■ボランティア通信「なかよし」
地域を支えるボランティア
登録者を募集中 ほか

山の手助け合いチーム
ふれあい収穫祭&交流会食会

山の手たすけあいチームふれあい収穫祭&交流会食会。集会所の菜園で収穫された野菜をいっぱい入れたカレーライスなどをみんなで味わい、収穫の秋を楽しんだ。



利用者 64名の長寿をお祝い

特別養護老人ホーム心和園 敬老授与式

平成26年4月1日より指定管理者として移行された、特別養護老人ホーム心和園の運営も早いものでもう半年が経ちました。

今回は、9月18日(木)

を開催しています。同時に入所者の皆さんも楽しみにしている行事でもあります。

最初に運営法人を代表して大野会長よりお祝いの挨拶を申し上げ、来賓として若狭町長の出席もいただき皆さんへ祝辞をいただきました。

今年、70歳以上の対象者が64名でありました。その内、仙寿(100歳以上)が舟山キエさん・中島香二代さんの2名、白寿(99歳)が小原秀雄さんの1名、米寿(88歳)が鈴木千恵さんの1名、傘寿(80歳)が小幡スメリさんの1名、併せて5名の長寿祝金贈呈該当者が、若狭町長から祝金を受け取りました。



[上] 忙しい中を駆けつけていただいた若狭町長に祝辞をいただきました

また、対象入所者の皆さんには、心和園から記念品を贈呈しました。この記念品は、入所者の皆さんに少

しでも喜んでいただこうと、東フロア・西フロア・ユニッツフロアで各記念品を職員で選び考えたものにし、司会が一人ひとりの名前を讀



[写真2枚] 記念品を受け取る利用者。受け取る利用者からは笑顔がみられる場面も



【左】一つひとつにお祝いのメッセージが書かれた手作りの敬老カードがプレゼント



【上】利用者を代表して、謝辞を述べた西澤トシ子さん

み上げ、大野会長・斉藤事務局長・小池施設長から入所者全員へお渡ししました。最後に心和園の利用者を代表して西澤トシ子さんから謝辞をいただき、今年の心和園敬老授与式は閉会しました。

夕食時には、この日のために職員が作成したお祝いの言葉を書き込んだ手作りの敬老カードを入所者全員にプレゼントしました。

心和園も昭和56年開設時と比べ、時代背景や介護保険制度が施行されて、措置から契約へと変わり年々入



【右】この日は、老若男女の特別な敬老会特別食

所者の重度化と高齢化が目立ってきておりますが、皆さん元気に心和園で過ごされています。

これからも職員一同、より一層努力してまいりますのでよろしくお願ひします。

今年も、心和園敬老会に堀部禮子さんより盛花の寄贈がありました。



長寿祝金対象者

左写真 傘寿(80歳)を迎えた小幡スメ子さん

左下写真 米寿(88歳)を迎えた鈴木千恵さん

右下写真 白寿(99歳)を迎えた小原秀雄さん



地域福祉事業資金造成 チャリティービアパーティー終わる

～チャリティー益金は 511,256 円～



昨年好評につき、今年も引き続き行った地域福祉事業資金造成チャリティービアパーティーが、9月6日、社会福祉センターにおいて、大盛況で終わることができました。

当日は、参加者306名で、用意されたサッポロ、アサヒ、キリンとサントリーの4銘柄のビールで、参加者の多くが、暖かい夜の時間を、ほろ酔い気分で交流しました。

当日の収益は、会券収入の909,000円で、かかった経費397,744円を差し引き、残額511,256円がチャリティー益金となりました。(表)

この益金は、緊急情報キット「かけはし」の購入費や地域の福祉活動へ助成する「たすけあいチーム助成」のほか、今年度の地域福祉事業の財源として活用していきます。

また、余剰金は、翌年度の地域福祉事業の貴重な財源として繰り越して活用していきます。

みなさまのご協力とご理解ありがとうございます。



表 チャリティービアパーティー収支報告

収入の部		
会券収入	909,000円	1,500×606枚
計	909,000円	①
支出の部		
飲食費	263,360円	飲物、オードブル等
景品費	60,160円	お楽しみ抽選会景品
印刷費	21,146円	会券作成・周知等
通信運搬費	19,934円	会券作成等
その他経費	33,144円	
計	397,744円	②
収支差額(益金)		
収支差額	511,256円	①-②

ホームヘルパーを募集しています

社協では、ホームヘルパーとして勤務する常勤・臨時職員を募集しています。

■募集条件／介護職員初任者研修修了(旧訪問介護員養成研修2級課程)以上の介護職資格、

普通自動車免許

■募集人数／若干名

■時給／1,350円以内(社会保険ほか加入あり)

■応募方法／履歴書と資格証明書(写)を社協へ提出

■その他／詳細は、問い合わせください。

■問い合わせ／社協(総務地域課)

☎52-7752



[ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]車いす操作の説明を真剣に
聞く厚岸小学校の児童たち

[右]社会奉仕の日にあわせ厚岸樹木園の
清掃活動を行った老
人クラブ会員



[右]厚岸町から参
加した身障分会会員
で記念写真



福祉の学習を行った 厚岸小学校地域参観日

厚岸小学校では、9月13日、同校の地域参観日の一環で、社協職員を講師に「福祉の学習」を行いました。

6年月組の児童たちが、福祉におけるコミュニケーションの演習で、人それぞれの価値観や考え方の違いを、車いす体験で、介助する側と介助される側の気持ちの理解を学習しました。

車いす体験では、段差や柔らかい地面(マットの上)の障害物に、「怖い」「重い」などの声があがり、介助される側の不安や、介助する側の難しさを体感していました。

社協では、福祉学習プログラムを一緒に考えていきますので、興味のある方は相談ください。

笑いヨガで健康に 釧路協幹部及び会員研修会

釧路地区身体障害者福祉協会「幹部及び会員研修会」が9月17日・18日の1泊2日で、弟子屈町ホテルきたふくろうを会場に行われました。

この研修は、会員相互の親睦や交流を深めるため毎年開催されている事業で、厚岸町からは、会員3名が参加し、笑うことで呼吸が深くなり、心臓の動きを良くして、さらにリラックス効果で健康になる「笑いヨガ」の実技が行われ、参加者はみんな一緒に大きな声で笑って楽しみながら体験しました。

また、夜には交流会が開かれ、ほか町村の会員と一緒に、食事を取りながら会話が弾み、大いに親睦を深めました。

厚岸樹木園清掃活動 老人クラブ社会奉仕の日

厚岸町老人クラブ連合会は、9月20日、全国の老人クラブが奉仕活動を行う「社会奉仕の日」にあわせ、厚岸樹木園(愛冠)の清掃活動を行いました。

会員たちは、だれもが散策しやすいようにと、広い樹木園に整備されている遊歩道の落葉や小枝を拾いきれいにしました。

また、当日指導された釧路総合振興局森林室の職員が、作業をしながら、園内に植えられている道内樹種のほか、めずらしい道外樹種や外国樹種の特徴をくわしく説明してくれました。

同樹木園では、四季を通じて多種多様な草花の開花もみられるそうなので、みなさまも一度足を運んではいかがでしょうか。

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



【上】 昨年のあつけし牡蠣まつり会場での街頭募金のようす



今年の
厚岸町の目標額は
2,580,000円

十月一日から
赤い羽根共同募金運動が
全国一斉に始まります

赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、地域と一緒に進めていくための運動であり、毎年多くの募金ボランティアの方々に支えられています。

皆さんからいただきます寄付金は、北海道共同募金会に集められ、高齢者・障がいのある方などを支援する団体や地域住民による福祉活動などに幅広く活用され、自然災害及び大規模災害が発生した場合の被災者及び被災地支援にも役立っています。

今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国一斉で展開され、町内でも各家庭や事業所、職場など様々な機会を通じて募金活動を行います。

また、12月1日からは年末年始を誰もが明るく迎えられるようにという趣旨の歳末たすけあい運動が行われます。

地域で暮らす人たちのための住みよい地域づくりに向けてあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

厚岸町で実施する募金の取り組み

- 街頭募金**…人の集まる場所・イベント会場など街頭にたって行います。
- 学校募金**…福祉教育の一環として、学校を通して行います。
- 戸別募金**…自治会を通じて、世帯ごとに募金をお願いします。
- 職域募金**…会社や役場などの社員・職員に呼びかけ募金をお願いします。
- 法人募金**…企業・団体・商店など直接訪問して募金をお願いします。

寄付金の使いみち

寄せられた寄付金は、全て我が町と北海道の地域福祉活動のために役立てられます。(表)

厚岸町においては、高齢者、ハンディキャップをもつ方などを支援する福祉団体・福祉施設、福祉活動を推進している社会福祉協議会、ボランティア団体の活動資金に使われています。

税制上の優遇措置

個人や企業が赤い羽根共同募金に二千元以上寄付した場合、税制上優遇措置の適用が受けられます。

株式会社など法人の場合は、法人税法により法人所得の計算上「全額損金」として取り扱えます。

また、個人の場合は、所得税の所得控除、住民税の税額控除の対象になります。この扱いは確定申告の際



〔上〕 助成交付書を受け取る難病連厚岸・浜中支部



に領収証を添付の上、申告すると受けることができます。

災害により被災した方には災害見舞金を交付します

火災及び風水害により、次の要件に該当する被災者に「災害見舞金」を交付します。

■道内市町村の住民基本台帳に記載されていること

■自己の居住用に供している住家に被害を受けたこと

災害見舞金は、被害状況によって次のとおり交付されます。

①災害により世帯構成員が死亡された場合、一人につき二万円

②住家に被害を受けた場合、全壊・全焼・流失は二万円、半壊・半焼・床上浸水は一万円となります。

※ただし、災害救助法の適用を受けた場合、罹災者の故意又は重大な過失が災害発生の原因と判断される場合は支給しません。

助成申請しませんか

これから活動を考えている団体で、ご希望が

先／厚岸町共同募金委員会事務局 ㊟52-7752

(表)

26年度共同募金助成決定団体と助成額(厚岸町)

【厚岸町を対象とした市町村地域団体配分(B配分)】		
厚岸町社会福祉協議会	広報誌発行	525,333円
厚岸町社会福祉協議会	たすけあいチーム助成事業	280,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふらっとニコニコ広場	200,000円
厚岸町社会福祉協議会	ふれあい会食会	180,000円
厚岸町社会福祉協議会	地域福祉懇談会	100,000円
厚岸町社会福祉協議会	ボランティア研修会	50,000円
厚岸町老人クラブ連合会	会員演芸交流会	140,000円
厚岸町老人クラブ連合会	高齢者生きがい事業	40,000円
厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル実行委員会	こう福祉21	110,000円
あつけしサポートネット「のびのび」	レスパイトサービス事業	100,000円
厚岸町地域子ども会育成連絡協議会	野外活動体験事業「親子でるるる」	30,000円
身体障害者福祉協会厚岸町分会	町外研修旅行	55,000円
厚岸町ボランティア連絡協議会	ボランティアの集い「なかま」フリーマーケット	50,000円
厚岸コミュニケーション障害の会	会員研修旅行	30,000円
北海道難病連厚岸・浜中支部	医療講演会	30,000円
ちいさな絵本箱	読み聞かせ事業	30,000円
合	計	1,950,333円

子育てを支援する ファミリーサポート事業交流会の開催

ファミリーサポート事業は、地域の住民同士が子どもを預かることで、地域の中に安心して子育てをする環境が生まれるように子育てを支援していく、会員登録制の事業です。

この事業では、育児の援助を受けたい依頼会員を、援助を行う提供会員、依頼・提供の両方を兼ねた両方会員で支援活動を行っています。

また、会員が集まり、交流の輪を広げ、今後の子育て支援活動を円滑に進めることを目的に、

交流会を年に1度実施しています。

今回は、本の森厚岸情報館職員に協力いただき、絵本の読み聞かせや、参加会員の自己紹介、意見交換を行います。

会員みなさんの参加をお待ちしています。

なお、今後支援の利用を希望し交流会に参加したいと考えている方は、会員登録へ向けて説明会の受講が必要となりますので相談ください。

■日時

平成26年11月29日(土)
10時から12時まで

■場所

社会福祉センター 和室

■参加対象

ファミリーサポート会員

■参加費

無料です

■申込み期日

平成26年11月21日(金)まで、あつけし子育てサポートセンター(担当:杉本)
TEL 52-7752



[上] 手話歌の説明を聞きながら実践する参加者



[上] 依頼会員の子どもと一緒に、楽しくストローロケットを作りました

ボランティア活動助成金のお知らせ

生命保険協会では、ボランティア活動を目的とした団体や、特定非営利活動法人への助成を実施しています。

この助成対象は、虚弱化予防の活動、自立支援活動、交流サロンを実践している団体の活動費として15万円を限度に助成しています。

■申請方法

助成申請書に必要事項を記入し、所定の必須添

付書類とともに、生命保険協会まで郵便で送付

■助成対象期間

平成27年4月から平成28年3月までの活動

■申込み受付期日

平成26年10月15日(水)まで

■問い合わせ先

厚岸町ボランティアセンター(担当:杉本)
TEL 52-7752

地域を支えるボランティア登録者を募集中

厚岸町ボランティアセンターでは、特技や趣味を活かして活動をしていただけるボランティアを募集しています。

空いている時間を有意義に使いたい、自分の力をまちのために活用したいけど、どうしたら良い

のか分からないという方がいると思います。

今回は、ボランティア活動をするにあたっての大切な要点やボランティアセンターで行っている活動を紹介します。ボランティア活動をしたい方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

ボランティアの基本的な考え

●自分からすすんで行動する

ボランティア活動は、誰かに強制されたり、義務として行わせる活動ではありません。

友人から誘われたり、学校や会社、地域の行事として参加したり、「やってみよう」と気持ちから、ボランティア活動は始まります。

●地域の課題を発見する

自治会やまちの課題を発見するためには、地域のニーズを考えたり、集会への参加や、ボランティアセンターまたはボランティア実践団体に相談する方法もあります。

●課題解決の方法を考える

課題を解決していくためには何が必要なのか、どうすればよいかを、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法やしくみを考えることと、多くの人々と協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

●見返りを求めない

ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会い、発見、感動、喜びといった精神的な報酬を得る活動であり、利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。

社協では、今このようなボランティア活動があります

現在、社会福祉協議会で行われているボランティアの活動としては、テレビ電話を利用して利用者とコミュニケーションを図る傾聴ボランティア、使用済み切手を収集して福祉団体の施設整備資金の一助に協力する収集ボランティア、サロンでの食事作り（写真）やゲームの進行、地域での見回り活動、在宅老人デイサービスセンター行事のお手伝いなどがあります。

みなさんのボランティア登録をお待ちしております。





編集後記

■全国各地で豪雨や土砂崩れ、冠水で住宅に浸水する被害が多く、厚岸町も突然の大雨や雷雨が発生しました。これから台風が多くなる季節です。荒天が長期間続いたり、多量の大雨が降った際には、気象情報の確認をお願いします（杉本）

■6月から始まった介護職員初任者研修も5ヶ月間を過ぎようとしています。家族介護のため、仕事に役立てたいなど受講理由はさまざまですが、無事修了を迎え、厚岸町の介護を支える人材に育っていただくことを期待します。（米内山）

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2014. 10/No. 141

【編集】 齊藤 健一
米内山紘輝
杉本 裕樹

社会福祉法人
厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044
URL <http://www6.plala.or.jp/akkeshisyakyou/>

お知らせ情報

TEL 52-7752 FAX 52-6044

お気軽に相談を 無料法律相談所

民生委員が無料で福祉相談に応じます。秘密は守られますので安心して相談ください。

■日時／11月25日（火）13時30分～15時00分

■場所／社会福祉センター

■相談員／中野美津男、吉田幸男、葛西松子

■問い合わせ／社協52-7752
1ヶ月を目安に

車いす無料貸出

社協では、一時的な車いすの貸し出しを行っていますので活用ください。

■貸付場所／社会福祉センター

■料金／無料

■問い合わせ／社協52-7752

■その他／台数に限りあり

皆さんの参加大歓迎 障害者（児）ふれあいフェスティバル「こう福祉21」

障がいの理解のため、さまざまな活動を紹介するポスターセッションや壇上発表のほか、「見る」「聞く」「体験する」のコーナーが楽しめます。福祉関係者だけでなく、どんな方でも参加できますので、一緒にふれあいの一日を過ごしましょう。

■とき／11月9日（日）

■ところ／社会福祉センター

■問い合わせ／社協52-7752

もしくは町保健福祉課障害福祉係53-3333

■その他／詳細は、町内に掲示するポスターもしくは配布チラシをご覧ください。

寄付・寄贈ありがとうございます（6月～9月分）

【寄付金】

一般寄付／織田美登志さん50,000円〔心和園へ〕、小島克己さん（門静）100,000円〔心和園へ〕

【寄贈品】

▼法人本部に／大地みらい信用金庫松葉町支店～古切手

▼心和園に／厚岸漁業協同組合～棹前昆布、アップルクラブ～古布、リビングホームさざい～ティッシュ、富田英夫さん（トライベツ）～大根・キャベツ

今月の福祉標語（平成25年度福祉標語入選作品）

どこにでも 持って歩こう 思いやり

（平成25年度福祉標語優秀賞 厚岸中2年 大野 航汰さん）

「どうしたの？」 その一言が 第一歩

（平成25年度福祉標語優秀賞 真龍小5年 高橋 みなみさん）

あいさつで げんきになるよ たのしいよ

（平成25年度福祉標語努力賞 太田小2年 松田 桃蓮さん）



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。